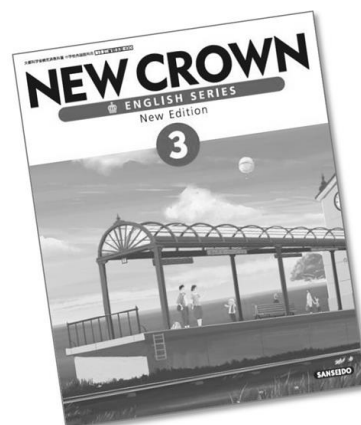
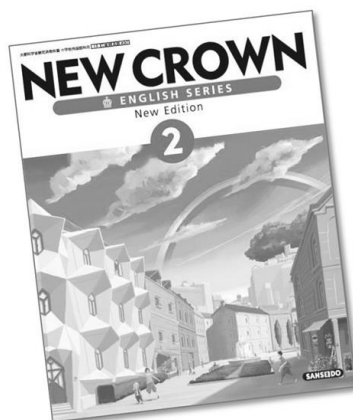
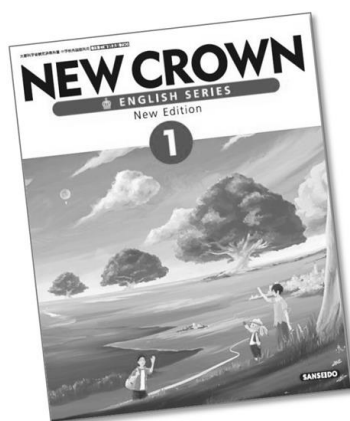


●平成 28 年度版

NEW CROWN

ENGLISH SERIES
New Edition

移行措置資料



もくじ

新学習指導要領の移行期の指導にあたって	1
移行期における文法指導	2
～指導例（解説とワークシート）～		
● 過去形（be 動詞）	【1 年 Lesson 9】 4
● 過去進行形	【1 年 Lesson 9】 7
● SVOC	【2 年 Lesson 5】 11
● It ～（for A）to ...	【2 年 Lesson 6】 14

新学習指導要領の移行期の指導にあたって

大阪教育大学 吉田晴世

学習指導要領改訂のポイント

2017 年 3 月に、小学校と中学校の学習指導要領が告示されました。全教科にわたるねらいとして、3 つの観点、「①知識・技能」「②思考力・判断力・表現力」「③学びに向かう力および人間性」が提示されました。また、「児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る」必要性が言及されており、アクティブ・ラーニングの視点が学習指導要領に取り入れられています。

外国語活動および外国語の「目標」では、これまでの「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の 4 技能 4 領域から、「話すこと」が「話すこと（やり取り）」と「話すこと（発表）」に分けられ、4 技能 5 領域の目標が明記されています。背景には「話す」という技能の中で、「やりとり」と「発表」は違うと考えられてきたからです。「発表」は準備と練習、そして度胸が揃えば、こなすことができますが、「やりとり」は相手の話を十分に聞きとり、それに対応するなど複雑な要素がからんでくる中で自分の思い・主張をしっかりと伝えなければなりません。

内容上の主な変更点は、以下の 3 点です。

- ① 授業は基本的に英語で行う。
- ② 中学校では、小学校で学習した語に加え、1,600～1,800 語程度を指導する。
- ③ これまで高等学校で扱っていたいくつかの文構造や文法事項を中学校で扱うこととする。

新学習指導要領へのスムーズな移行に向けて

中学校での実施は小学校より 1 年遅れるため、2019 年度（令和元年度）の中学 1 年生は第 3 学年から、2020 年度（令和 2 年度）の中学 1 年生は第 2 学年からといったように、中学校 3 年間の途中で新学習指導要領に基づく教育課程に切り替わり、新しい検定教科書を使うことになります。

中学校での外国語においては、特例措置はなく、新学習指導要領に基づいた指導が行われることが求められます。授業数の追加がない中で、新学習指導要領での変更点を十分に理解しつつ、小学校及び高等学校との接続を考慮した指導を行わなければならないのです。

ここで、英語教員にとっての指導上の一番の困難点は、移行期間中は現行学習指導要領に沿った教科書が引き続き使用されるということです。中学校外国語で扱う文構造や文法事項などの言語材料については、小学校での外国語活動と外国語科の導入によって、これまで中学校段階での内容であったものが小学校段階へ、また高等学校段階での内容であったものが中学校段階へと移動するものがあることを確認する必要があります。

このような状況をふまえたうえで、本資料では、中学校卒業時に新学習指導要領の学習事項が遺漏なく履修されるように、移行期間において手当てできるような教材を提供したいと考えております。

移行期における文法指導

新学習指導要領の中学校外国語では、中学校で学ぶべき言語材料のうち「文・文構造および文法事項」に、「現在完了進行形」「仮定法」などが新たに加わっています。これらの文法事項は、従来高等学校で学んできており、文法事項として高度な内容であることから、中学 3 年で扱うのが適当と思われます。そのために従来中学 3 年で学んできたものの一部を中学 2 年で、中学 2 年で学んできたものの一部を中学 1 年で先行して扱い、2019 年度の 1 年生、2020 年度の 1 年生の生徒が、新学習指導要領へスムーズに移行できるようにしたいと考えます。現行版の *NEW CROWN* を使用する中で、先行して扱う文法事項に関連する Lesson に紐づけて学ぶ指導計画例を下記に示し、さらに該当する文法事項の活動例を別に示します。

* L=Lesson, GR=Get Ready, LT=Let's Talk, P=Project

* ★は、現行の Lesson に紐づけて関連した文法事項を先行して学ぶ活動例。本冊子に掲載。

* 網かけは、★の活動で先行して扱う文法事項の現行での位置。★の活動をしておくことによって、既習事項となり、網かけの位置では軽い扱いで済ませることが可能。

第 1 学年

セクション		主な言語材料
GR	Get Ready 1-5	基本表現、単語、アルファベット、発音とつづり
L1	I Am Tanaka Kumi	I am ~. You are ~. (肯定、疑問、否定)
LT1	すみません	I'm sorry.
L2	My School	This is ~. (肯定、疑問、否定) / What is this? / He/She is ~. (肯定、疑問、否定)
LT2	今、何時?	What time is it?
L3	I Like Soccer	I play ~. (肯定、疑問、否定) / What do you have ~?
LT3	どこにありますか?	Where is ~?
P1	自己紹介をしよう	
L4	Field Trip	複数形 / How many ~? / 命令文
LT4	買い物をしよう	How much is ~?
L5	Our New Friend	Who is ~? / him/her / When/Where do you ~?
LT5	これだれの?	Whose ~ is this? —It's mine.
L6	My Family	3 人称単数現在形 (肯定、疑問、否定)
LT6	お昼ごはんを食べよう	Which ~, A or B?
P2	友達にインタビューしよう	
L7	Sports for Everyone	助動詞 can (肯定、疑問、否定)
LT7	電話をしよう	Can you ~?
L8	School Life in the USA	現在進行形 (肯定、疑問、否定)
LT8	公園に行こう	How can we go to ~?
L9	Four Seasons	過去形《一般動詞》(肯定、疑問、否定)
LT9	どうして好きなの?	Why ~?
★	思い出を書こう	過去形《be 動詞》
★	あの時何をしていたの?	過去進行形
P3	大切なものを紹介しよう	

第2学年

セクション	主な言語材料
L1 Aloha!	Amy played ～. (肯定, 疑問, 否定)
LT1 道案内をしよう	How can I get to ～?
L2 Peter Rabbit	My father was ～. (肯定, 疑問, 否定) / 過去進行形・接続詞 when
LT2 もし雨が降ったら	If ～, ...
L3 The Ogasawara Islands	未来を表す表現 (will, be going to) / 接続詞 that
P1 有名人を紹介しよう	
L4 Enjoy Sushi	There is [are] ～. / 動名詞
LT4 宿題は何?	We have to ～.
L5 Uluru	give など + A + B, look など + A
★ SVOC を活用して感情を表現しよう。	call/make + A + B
LT5 もっといただけますか	May I ～?
L6 My Dream	不定詞 (名詞用法, 副詞用法, 形容詞用法)
★ 将来やりたいことを語ろう	It ～ (for A) to...
LT6 電話をしよう	Will you ～, please?
P2 自分の夢を紹介しよう	
L7 Presentation	比較級, 最上級 (形・副), as ～ as ...
L8 India, My Country	受け身形 (肯定・疑問・否定・by...の文)
LT7 買い物をしよう	This shirt is too ～.
P3 自分の町を紹介しよう	

第3学年

セクション	主な言語材料
L1 My Favorite Words	受け身形
LT1 道案内をしよう	Could you tell me how to get to ～?
L2 France - Then and Now	現在完了形 (継続用法)
LT2 どうしましたか	What's wrong?
L3 Rakugo Goes Overseas	現在完了形 (完了用法, 経験用法)
P1 先生にインタビューをしよう	
L4 The Story of Sadako	call/make + A + B / It ～ (for A) to...
LT3 買い物をしよう	Would you ～?
L5 Places to Go, Things to Do	関係代名詞 (主格, 目的格)
L6 I Have a Dream	後置修飾 (動詞の-ing 形, 過去分詞形), 接触節
LT4 玉子料理はいかがですか	Would you like ～?
P2 日本文化を紹介しよう	
L7 English for Me	want + A + to ～ / 間接疑問 (why など)
LT5 電話をしよう	Could you ～?
P3 ディスカッションをしよう	

1. ねらい

Lesson 9 は、エマの 1 年を振り返る本文を軸にしながら、文法事項としては過去形（規則動詞、不規則動詞）を扱っている。自分の今年 1 年間の出来事を振り返りながら、感想を最後に付け加える英文表現をゴールに過去形 (be 動詞) を導入する。

2. 教科書との関連

1 年 Lesson 9（過去形 規則動詞／不規則動詞）履修後に位置付ける。

3. 活動の手順、指導上の留意点

1) 過去形 (be 動詞) のオーラルイントロダクションをする。

写真等を用いながら、冬休みや週末にしたことについてスモールトークを行う。その際、前時までに学習している一般動詞の過去形を用いることで、過去に起こった出来事であることを生徒に意識させながら“I was happy.”や “It was beautiful.”のように感想を付け加え、be 動詞の過去形を導入する。

What did you do during the winter vacation?

- I went to Hawaii with my family. I enjoyed swimming in the beach. It was fun.
- I visited my grandparents in Hokkaido. I saw a lot of snow there. It was beautiful.
- I went shopping with my family. I bought a new computer. After that, we ate dinner at a nice restaurant. It was fun.
- My family and I visited my grandparents. My kids got New Year’s money from them. They were happy.

2) 過去形 (be 動詞) について説明する。(Point)

既習である be 動詞の現在形と対比する形で be 動詞の過去形について説明する。be 動詞の現在形の用法（状態や存在を表すなど）に触れながら、こういった場面で扱うかを生徒とやりとりしながら確認させる。

3) 過去形 (be 動詞) の文型練習をする。(Drill)

- ① The sports day was fun.
- ② The trip was interesting.
- ③ The students were excited.
- ④ The cherry blossoms were beautiful.

4) 過去形 (be 動詞) を含む英文を書く (Activity)

4. 応用・発展

a. 週末にしたことについてペアで会話をさせる。【Speaking】

<手順>

- ① 「週末にしたこと」について生徒とやりとりしながら，これから何をするのかを理解させる。
- ② 生徒に「週末にしたこと」について考えさせる。
- ③ Starter question “How was your weekend?” を全体で練習する。
- ④ ペアで会話させる。
- ⑤ 教師がフィードバックし，別のパートナーと会話する。

A: How was your weekend?

B: It was good.

A: What did you do?

B: I went shopping with my friends.

A: Oh, that sounds nice.

B: How about you?

A: I did my homework. I was tired.

b. 日記を書く。【Writing】

過去形を履修後は，日々の出来事や週末，長期休み等でしたことについて書かせる。そして日記を書く習慣をつけさせ，家庭学習に繋げたい。日記を書く際には，単に自分がしたことについて羅列するのではなく，必ず自分の気持ちや感想などを書くよう指導する。

思い出を書こう

CLASS _____ NO. _____ NAME _____

Point 過去形 (be 動詞)

肯定文 The movie *is* fun.
The movie **was** fun.

The games *are* exciting.
The games **were** exciting.

疑問文 **Was** the movie fun?
応答文 Yes, it was. / No, it was not.

否定文 The movie **was not** fun.

Drill

1 Listen & Choose 2 Listen/Repeat/Say 3 Write (_____ に書こう。)

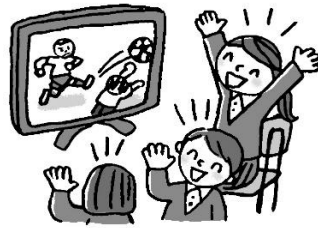
①



②



③



④



①

②

③

④

Activity

今年 1 年間の印象に残った学校行事について、3~5 文で書こう。
最後はできごとの感想で終わろう。

例) Our school had its sports day in October.

We played tug-of war.

My team did not win, but it was fun.

entrance ceremony 入学式
mid-term exam 中間考査
sports day 体育大会
field trip 校外学習
school festival 文化祭 など

1. ねらい

Lesson 9 で扱っている文法事項である過去形（規則動詞，不規則動詞）に加え，過去のあるときに
行っていたことを振り返る表現ができるように過去進行形を導入する。

2. 教科書との関連

1 年 Lesson 9（過去形 規則動詞／不規則動詞）履修後，本移行資料の「思い出を書こう 過去形（be
動詞）」を導入し，その上で扱う。

3. 活動の手順，指導上の留意点

1）先週の日曜日の学校の様子について，オーラルイントロダクションする。

例）T: Last Sunday I came to school at 10:00 in the morning. There were some teachers because they
had the club activities last Sunday. Our Japanese teacher, Ms Sasaki was playing table tennis in
the gym. She is a very good table tennis player. Our math teacher, Mr Tanaka was running in
the school ground with the students. He is the coach of track and field club, right? S1, what were
you doing at 10:00 in the morning last Sunday?

S1: I watched TV...

T: Oh, you were watching TV. What TV program were you watching?

S1: I was watching an anime, and it was interesting.

T: Oh, nice! How about you, S2?

※生徒たちにおなじみの先生が，先週の日曜日にしていたことについて写真を使って紹介してみる。

2）過去進行形について板書して説明する。（Point）

<板書例>

I am playing tennis in the park now.

今

I was playing tennis in the park at that time.

あの時

「～していた」と，過去のあるときに進行していた動作には

was/were + 動詞の-ing 形 を使って表す。

※ 現在進行形[am/is/are + 動詞の-ing 形]と似ていることを意識させたい。

3）過去進行形の文型練習（Drill）

I am playing tennis now.

①下線部を at that time にかえて

②study English にかえて

③listen to music にかえて

④swim in the pool にかえて

※ am playing tennis のところを②～④の表現を代入して文をつくる。

4) 次の質問に過去進行形 (be 動詞) を含んだ英文を考え、書いて発表させる。

What were you doing at 10:00 last Sunday? (先週の朝、10 時、何をしていたか。)

例) I was sleeping in the bed. / I was doing my homework. / I was reading a book.

5) ライティング (個人, ペア) (Activity)

自分自身のことだけでなく、家族にたずねたり、ペアワークとしてクラスメートにたずねたりしたことについて過去進行形を使った文をつくる。3～5 文で書けることを目標とする。またつなぎ言葉 (and, but, so) などを使って、つながりのある文章が書けるようになることを視野に入れて指導したい。

例) I was watching DVD with my father at seven last Sunday. My mother Saki was cooking dinner for us, but my brother Takeshi was playing the game. My grandfather was reading a book. My sister Emma was doing her homework. So, my mother was very busy at that time.

★その他の Activity 例 「ケーキを食べたのは誰？」

ケーキを食べたのは誰になるかを探すために、過去進行形を使って、過去のある時刻にしていたことをたずねる。グループ (4～5 人が望ましい) で対話させる。

<進め方>

① グループ内で Kumi, その他の役割を決める。(その中で必ず母親役は決めること)

下の表に載っている情報を書いたカードを準備し、それを引かせるとよい。

② Kumi 役は、例にならって、他のメンバーへ質問していく。時間を計って行う。

③ 時間が来たら、Kumi からケーキを食べたのは誰かを発表させる。なぜそう思ったのか理由も答えさせる。当たるまで発表させるといいだろう。

例) Kumi: My mother ate the cake! Right?

Other members: No!!

Kumi: Why?! OK, Tama ate the cake!

Other members: That's right! Why?

Kumi: Because my mother was sleeping but Tama wasn't.

So I think Tama ate the cake.

	していたこと	いたところ	そのほか
例) Takeshi	ゲームをしていた	自分の部屋	甘いものは嫌い
Kenta	バスケットボールをしていた	学校	甘いものは大好き
Emma	宿題をしていた	図書館	甘いものは大好き
Kumi's father	音楽を聴いていた	居間	甘いものは嫌い
Kumi's mother	ペットのタマと一緒に寝ていた	自分の部屋	甘いものは大好き

<解答例>

ケーキを食べてしまったのは？ （答：ペットのタマ）

理由は？ （例：母が寝ている間に食べてしまったから。）

4. 応用・発展

Kenji の昨日の日記を読んで、下の問いに答えさせる。【Reading】

It was snowing yesterday, and I went to the park. I met some of my friends there. Satoshi was running with his dog, Max in the park. Hanami was making a snowman* with her brother. Takeshi and Akira were playing soccer. It was very cold, but we enjoyed very much.

*snowman: ゆきだるま

1) How was the weather yesterday? （It was snowing.）

2) What was Hanami doing? （She was making a snowman with her brother.）

3) Does Kenji like winter? Yes or no? Why?

（例：Yes, he does. It was cold in winter, but he enjoyed playing with his friends.）

あの時、何をしていたの？

CLASS _____ NO. _____ NAME _____

Point 過去進行形

I *am playing* tennis now.

They *are running* in the park.

I **was playing** tennis at that time.

They **were running** in the park.

Drill

1 Listen & Choose 2 Listen/Repeat/Say 3 Write (_____ に書こう。)

①

②

③

④



①

②

③

④

Activity 先週の日曜日の夜 7 時に何をしていたか、①あなたの周りの人がしていたことをたずね合い、②次に、自分自身のことやたずねてわかったことについて 3～5 文でまとめて他の人に伝えられるように書こう。

会話例)

あなた: What were you doing at seven last Sunday?

Takeshi: I was playing the game at that time.

あなた: How about you, Saki?

Saki: Well, I was cooking dinner at that time.

...

文例)

I was watching DVD with my father. My brother Takeshi was playing the game. My mother Saki was cooking dinner, and my sister Emma was doing her homework. My grandfather was reading a book.

1. ねらい

Lesson 5 は、エマの母国であるオーストラリア、特に Uluru について説明する本文を軸にしながら、文法事項としては SVOO, SVC (give A+B, look+A など) を扱っている。オーストラリアと日本それぞれの国での独自のルールを比較しながら、喜怒哀楽などの感情を表現することをゴールに SVOC(make A+B)を導入する。

2. 教科書との関連

2年 Lesson 5 (SVOO, SVC) 履修後に位置付ける。

3. 活動の手順、指導上の留意点

1) Uluru で観光客の気をつけるべきことを振り返りながら SVOC を用いてオーラルイントロダクションをする。

例) Now we learned some rules in Uluru. What are they? (生徒に答えさせる) Yes, we must not climb the rock. Climbing the rock makes the Anangu sad. What else? (生徒に答えさせる) That's right. Visitors must not take pictures of the rock. Taking pictures of the rock makes the Anangu angry. But why? Why do they get angry or sad if we take its pictures or climb it? (生徒に答えさせる) Yes, they respect the rock. We all should respect Uluru. Respecting Uluru makes everyone happy.

2) SVOC について説明する。(Point)

カードや板書、パワーポイント等を用いて使った例文を示し、O=C の関係を簡潔に確認する。

- ・ Taking pictures makes the Anangu angry.
- ・ Climbing the rock makes the Anangu sad.

3) SVOC の文型練習をする。(Drill)

The letter makes me happy.

The test makes him sad.

The song makes us relaxed.

The news makes us angry. (その時に世間を騒がせているニュースから Drill 文を作るのもよい)

*過去形のほうが自然と思われる文例もあるが、文型に集中させるために現在形で統一する。

4) SVOC を含む英文を 4 人グループで話す。(Activity)

①自分のことを話題に

_____ makes me sad / angry, but _____ makes me happy.

例) (The bad test) makes me sad, but (playing tennis after the test) makes me happy.

(Graduating from the junior high school) makes me sad, but (meeting new friends) makes me happy.

②日本の国の文化のことを話題に。

_____ makes people in Japan sad/angry/surprised, but _____ makes people in Japan happy.

例) (Taking pictures of Ise Shrine) makes people in Japan sad, but (visiting Ise Shrine) makes people in Japan happy.

(Wearing shoes in the room) makes Japanese people surprised, but (taking off the shoes in the room) makes them happy.

* ①②とも，グループ交流後，クラスで発表させる。

★その他の Activity 例 日本の国独特の文化のことを話題に

_____ makes people in the world surprised, but it's normal in Japan.

例) (Wearing masks) makes people in the world surprised, but it's normal in Japan.

(Sleeping in the train) makes people in the world surprised though it's normal in Japan.

(Making noise during eating) makes people in the world surprised/angry, but it happens a lot in Japan.

4. 応用・発展

活動例 1: Activity で話した内容を書く。【Writing】

活動例 2: 日本を紹介したガイドブックの一節を読解させる。

Many tourists begin to visit Japan these days. We have a lot of beautiful places to visit, but Mie is especially a nice place. If you go to Mie, you should visit Ise Shrine. Ise Shrine is very famous in Japan. More than 8,000,000 people visit the shrine every year. It has a long history. Many people believe it gives power to us. It is a very sacred place. However, some visitors take pictures of its main shrine. This action does not show respect to Ise Shrine. It makes Ise people sad.

After visiting the shrine, you can enjoy eating around Ise Shrine. Ise udon is especially famous there.

- 1) この文でおすすめの場所はどこですか。 (三重の伊勢神宮)
- 2) その場所の特徴は何ですか。 (長い歴史がある。／力をもらえる。／聖地である。／近くで有名な伊勢うどんが食べられる。)
- 3) その場所で気をつけなくてはならないことは何ですか。 (写真を撮影することは望ましくない。)

動詞 (make) +A+B を活用して感情を表現しよう

CLASS _____ NO. _____ NAME _____

Point 動詞 (make) +A+B

You look happy.

The news makes me happy.

Drill

1 Listen & Choose 2 Listen/Repeat/Say 3 Write (_____ に書こう。)

①



②



③



④



①

②

③

④

Activity

① make A+B の形と happy/excited/sad/angry 等を使って, 自分自身について喜怒哀楽を表現しよう。

例) The bad test makes me sad, but playing tennis after the test makes me happy.

② make A+B の形と happy/angry/surprised/embarrassed 等を使って, 日本の文化について喜怒哀楽を表現しよう。

例) Taking pictures of Ise Shrine makes people in Japan sad, but visiting Ise Shrine makes people in Japan happy.

1. ねらい

Lesson 6 は、職場体験が題材となっており、生徒の将来の夢と関連して取り扱われている。文法事項としては不定詞（名詞用法、副詞用法、形容詞用法）が主な言語材料となっている。将来やってみたいことや夢についてのスピーチを作成させる際に用いる表現に幅を持たせることをねらいとする。

2. 教科書との関連

2年 Lesson 6 「P2 自分の夢を紹介しよう」の直前に位置付ける。

3. 活動の手順、指導上の留意点

1) It ~ (for A) to ...のオーラルイントロダクションをする。

What do you want to do in the future, everyone? When I was young, I wanted to be an English teacher, so it was necessary for me to study English a lot. How about you? What do you want to do or what do you want to be in the future? (A student: I want to ~.) Is it easy or hard for you to do it / get the job?

2) It ~ (for A) to ...について説明する。(Point)

不定詞を主語として使用している文と It ~ (for A) to ...の文をそれぞれの構造に着目させて比較させる。「～することは…である」を表したいとき、不定詞（名詞用法）より、It ~ (for A) to ...や動名詞を用いる方が自然な文になることが多い。また、どのような形容詞を使うことが多いのかを説明する。

3) It ~ (for A) to ...の文型練習をする。(Drill)

- Ⓐ This is an astronaut. It is exciting for him to go to space.
- Ⓑ This is a vet. It is necessary for her to help animals.
- Ⓒ These are college students. It is important for them to study many subjects.

4) It ~ (for A) to ...を含む英文を書く (Activity)

夢は職業だけではなく、やってみたいことも含まれることに留意させる。例えば、明確に医者になりたいと思っていれば、I want to be a doctor.と書けるが、そうでない場合は、I want to help people.などある程度漠然としていても、様々な表現ができることを教え、極力生徒が実際に考えていることを書かせたい。It ~ (for A) to ...については、言いたいことによっては for A は必要ないことを確認する。

4. 応用・発展

It ~ (for A) to ...を会話の中で練習させる。【Speaking】

例) A: What do you want to do / be in the future?

B: I want to travel abroad in the future. I want to visit Canada and see Niagara Falls.

A: Sounds fun. Do you think it is possible for you to do that?

B: Well, I don't have a lot of money now, so it is necessary for me to save money.

将来やりたいことを語ろう

CLASS _____ NO. _____ NAME _____

Point It ~ (for A) to ...

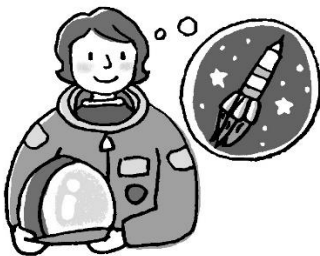
To think about our dreams is important *for* us.

It is important **for** us **to** think about our dreams.

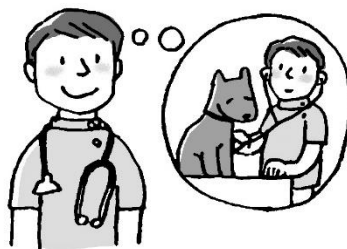
Drill

1 Listen & Choose 2 Listen/Repeat/Say 3 Write (_____ に書こう。)

①



②



③



①

②

③

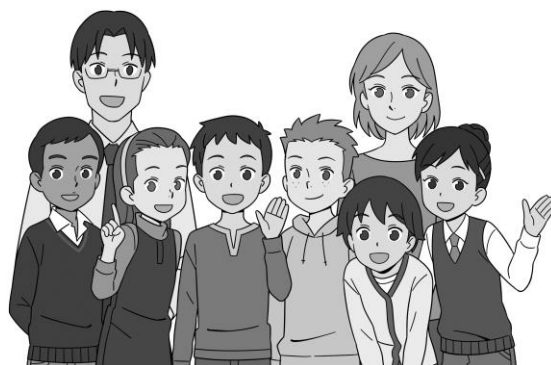
Activity

自分が将来やってみたいことや夢について、3～5文で説明してみよう。

例) I want to travel abroad in the future.

I want to visit Canada and see Niagara Falls.

I don't have a lot of money now, so it is necessary for me to save money.



三省堂

〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 TEL 03-3230-9411(編集)・03-3230-9412(営業)

- 大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 TEL 06-6341-2177
- 名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F TEL 052-953-9211
- 九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 TEL 092-531-1531
- 札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F TEL 011-616-8722